

とらやまの森

http://www.tsushima-yamaneko.jp/

センター展示改修 始動!

2010 冬号
NO.47



2010年春 完成予定

現在の対馬野生生物保護センター展示室



ラウンジゾーンイメージ図(予定)



ガイダンスゾーン イメージ図(予定)

**対馬野生生物保護センター
十二年ぶりに生まれかわる!**

今年一月から三月(詳しい時期は未定です)まで、対馬野生生物保護センターの展示改修工事が行われます。一九九七年八月の開館から皆さんに親しまれてきました展示ですが、開館以降ツシマヤマネコの保護活動の幅も広がり、全面的に展示を改修することになりました。

最新のヤマネコ保護活動を発信できる更新型展示や、体験できるハンズオン展示、薪ストーブのある団らんスペースなど、楽しみながらヤマネコについての理解を深めていただけるような、工夫をこらした展示へと生まれ変わります。何度来ても新しい発見があり、皆さんが自然と集まって談笑したくなるようなセンターにしていきたいと思えます!

工事期間中の一〜三月はセンターの中には入れなくなってしまいますが、公開中のツシマヤマネコ「福馬」のケージは極力お見せできるようにしたいと考えています。「福馬」のケージ付近も改修予定なので、お見せできない期間も出てきてしまうかもしれません、ご了承ください。

詳しい開館情報は、センターHPやCATVでお知らせいたします。工事期間中は何かとご迷惑をおかけしますが、改修後は皆さんに「あっ」と言わせるような展示にすべく、センター職員で検討中ですので、楽しみにしてください!

やまねこ News

ヤマネコ亜成獣の保護・収容続く

十二月七日、豊玉町仁位でヤマネコを発見したとの連絡があり、センターで保護しました。また、十二月八日峰町志越で、交通事故により死亡したヤマネコをセンターに収容しました。どちらも親離れして間もない亜成獣でした。

六七日間というセンター開所以来の最長無事故記録も、残念ながら途絶えてしまいました。将来有望な若いヤマネコが事故にあうのは悲しいことですが、生きていけば治療できますし、死んでしまっても原因究明ができます。通報して下さった皆様に深く感謝し、今後のヤマネコ保護に活かしたいと思いません。



保護されたMn-43

ツシマヤマネコ交通事故ゼロ記録看板設置

ツシマヤマネコ応援団では、十月にトヨタ環境活動助成プログラムの一環として対馬市交流センターとスーパースタジアムに「ツシマヤマネコ交通事故ゼロ記録看板」を設置しました。残念ながら亜成獣の交通事故が起き、最長無事故記録はストップしてしまいました。ドライバーの皆様、これからも安全運転をお願いします。



ゼロ記録看板設置

福岡・対馬で

飼育下ヤマネコ死亡

福岡市動物園

No.六(♀)は、飼育下繁殖に参加させる目的で一九九八年に上対馬町で捕獲された初のメス個体でした。残念ながら繁殖には成功しませんでした。福岡市動物園では二〇〇四年から展示個体として活躍していました。飼育員の間では「ばあちゃん」と呼ばれて親しまれており、小さい体と潤んだ瞳が愛らしいヤマネコでした。推定年齢が十四歳以上と、おそらくツシマヤマネコとしては最長寿だったと思います。福岡市動物園の職員の方々のおかげで大往生できたと思います。

対馬野生生物保護センター

No.三十(♀)は二〇〇五年にNo.一(♂)とNo.九(♂)との間に生まれ、幼獣のときに事故で左前脚を失うといった不運に見舞われましたが、二〇〇七年にセンターに来てからは、持ち前の気の強さと食欲旺盛ぶりです。日を過ごしていました。

十月四日、突然左右の瞳孔不整やふらつき等の神経症状が見られ、即入院となり治療をうけることになりました。しかし回復の兆しは見えず、原因究明のため島外まで運んで精密検査を受けました。対馬に帰ることができませんでした。短い時間で逝ってしまったNo.三十の冥福を祈ります。



No. 30

職員日誌⑧ 『対馬に来て早2年半・・・』

あっという間に過ぎました。対馬に来るまでコレといった趣味もない人生を過ごしてきましたが、センターに入り「新人は国境マラソンを走らなければいけないのがヤマネコセンターのルール」と吹き込まれ、ハーフマラソンに挑戦！それ以来走ることの楽しさに目覚め、一番の楽しみは国境マラソンと対馬縦断駅伝に参加することっ！

むかし、『趣味がある人生は素晴らしい』と無趣味の父さんが言っていたことを思い出します。『どんな趣味が楽しいのかな？』と思っていたあの頃。『趣味は探すモノじゃない』とも言っていたっけ。

来年の参加が最後になるのは残念ですが、今から本当に楽しみです♪



対馬縦断駅伝で疾走！

アクティブ もてき
レンジャー：茂木
(出身地：新潟県)



学生の頃からツシマヤマネコを研究、センターでは主に調査・研究業務を担当！
趣味はケーキ作りと走ること♪

第4回ヤマネコ・クイズ！

ツシマヤマネコを見分ける一番の特徴は何でしょう？



対馬の環 News



市民参加の森づくり

十一月七日上対馬町舟志の旧舟志小中学校校庭で、ツシマヤマネコ応援団による「市民参加の森づくり二〇〇九」が開催されました。約五十人の参加者が、どんぐりを仕分けして種類毎に植えるなどの作業をし、植樹が行われた舟志の森で苗の生長を見学しました。今回植えたどんぐりは、三年程で植樹できる大きさに育ちます。



どんぐり仕分け

やまねこ音楽祭

続いて同小中学校の校庭と校舎内で「舟志の森 やまねこ音楽祭」が開催され、約百十名の参加者が多彩なゲストによる和太鼓、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロックや幕間の「ヤマネコクイズ」を楽しみました。センターの水崎保護官も、華麗なバイオリン演奏を披露しました。



音楽祭出演者

内山盆地まつり

十一月十五日には厳原町内山で「内山盆地まつり」が開催され、センターからはツシマヤマネコのパネルを出展しました。ツシマヤマネコの「つばき」も餅つきに参加し、厳原の皆さんにヤマネコの事を身近に感じていただけたのではないかと思います。



つばきも参加

収穫の秋

佐護小学校「田んぼの楽校」

十月二十日に生き物調査・二十一日に稲刈り・二十九日に脱穀作業をしました。秋の田んぼにはカヤネズミの巣がたくさん見つかり、生き物調査をしてもらたくさんのトンボが周りを飛んでいました。お米を作ることは多くの命を育てていることを学んだ田んぼの楽校になりました。



生き物調査

試験田の収穫

十月二十五日に上県町田ノ浜地区でお米の収穫が行われ、十一月八日には餅つきが行われました。赤米や黒米、古代米など五種類のお米が収穫できました。参加者は自分が育ててきたお米を収穫し、ついたお餅を美味しく食べました。みんな田んぼが大好きになってくれたようです。



豊作でした!

環境に配慮したヤマネコにも優しいお米作りも無事収穫を迎えることができました。今年も田植えからはじまり、生き物調査など田んぼに目を向ける機会が多い一年でした。そして田んぼからとても多くのことを学ぶことができました。来年の田んぼも楽しみですね!



手刈りでの収穫



Agレンジャー
山本がゆく

対馬の守人

長崎新聞対馬支局長

田中 祐作さん

2006年4月の赴任以来、ツシマヤマネコ関係で書いた記事は170本以上。中でもご本人が特に印象深かったのは、2007年に下島でヤマネコが23年ぶりに見つかったニュースだそうです。この記事は長崎新聞では1面トップに掲載され、全国レベルでも大きく話題になりました。

島への赴任は対馬が初めて。魅力溢れるこの島の沢山のことを知りたくて、色々な所に取材に行きました。また、磯焼けの取材では海に潜り、燃料価格高騰の際にはイカ釣り漁に同行するなど常に現場を大切にしています。

本業以外にも、「舟志の森やまねこ音楽祭」では実行委員会の副委員長を務め、コントラバス奏者(写真)として参加。「対馬を良くしたい」と自ら活動し、そうした市民を積極的にとりあげ応援してくれる記者さんです。



コントラバスを演奏中

センター News

イベント報告&情報

—自然ふれあいイベント報告—

10/25(日)とり観察会with野鳥の会
野鳥の会のみなさんと秋の渡り鳥の観察会をしました。
ノスリやハイタカ、クロヅルなどたくさんの鳥を観察することができました★



野鳥発見!?

11/8(日)龍良山の神秘
エコツアーガイドの長渡先生に龍良山を案内していただきました。森にまつわる色々なお話を聞かせていただき、龍良の自然を満喫した1日でした。



龍良山を散策♪

12/12(土)草で作ろう!エコ年賀状
美津島町公民館で千俵蒔山の草をつかってエコ年賀状を作りました。
それぞれステキな年賀状ができあがりました!

総合学習の時間でヤマネコについて一緒に学習した学校↓



ツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針 パブリックコメント・地元説明会

ツシマヤマネコの保護増殖に関わる行政機関が、今後のヤマネコ保護対策の方針を策定する予定です。1月はパブリックコメントと地元説明会を行い、皆さんからのご意見を募集します。ツシマヤマネコの保護について日頃お考えのことなど、率直なご意見をお待ちしております。

日にち: 1月24日(日)
場所(時間): 上県地区公民館講堂場所(10~12時半)
対馬市交流センター3階大会議室(16~18時半)

詳しくは折り込みチラシや対馬野生生物保護センターHP (<http://twcc.cool.ne.jp/>) をご覧ください。

—島外でのイベント報告—



ヤマネコ展の様子

日本大学生物資源科学部
博物館でヤマネコ展!
10/24~11/28に日本大学の博物館でヤマネコ展が開かれました! 学園祭では試験田で作ったヤマネコ米を販売し、島外の方にツシマヤマネコを知ってもらえるいい機会になったと思います。



ヤマネコ祭♪

井の頭自然文化園でヤマネコ祭♪
11/22(日)に井の頭自然文化園で「ヤマネコ祭」が開かれ、対馬についての講演会やセンターの活動紹介パネルが展示され、ヤマネコグッズやヤマネコ米の販売を行いました。

対馬市CATVで「つばきちゃんと一緒に」放送中

毎月第2・第4水曜日18:30~つしまる通信内で「つばきちゃんと一緒に」放送中
ヤマネコについてのクイズやセンターでの取組みなどを紹介しています★

ぜひ見てね!

2月11日(木) 『ネイチャークラフト教室』

時間: 13:00~15:00 参加費: 無料 場所: 対馬野生生物保護センター
対馬の木やどんぐりを使ってなべしきや小物を作ってみよう★



4月4日(日) 『千俵蒔山 春の植物観察会』

時間: 10:00~12:00 参加費: 100円(保険代) 集合場所: 上県町井口浜海水浴場前
植物に詳しい國分英俊先生を講師に迎えて、春の千俵蒔山の植物を観察します。

イベントの参加には事前の予約が必要です。申込・お問合せは担当: 大谷(おおや)・杉山まど。

編集後記

新年あけましておめでとうございます! みなさまのおかげでセンターも開館して13年目を迎えることができました。今年もやまねこセンターをどうぞよろしくお願いいたします♪



今日の一枚『ヤブツバキ』
この季節になると咲き始めるのが椿です。対馬に群生するツバキ科の植物は、年間を通して七種類あります。棹崎公園では、赤色の可憐な花を咲かせる冬椿(ヤブツバキ)が群生しています。センターに来館された際には、棹崎公園に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。赤く可愛らしい花が、皆様を迎えてくれることでしょう。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

